

令和元年度 京都市交通局運営方針の総括表

◆ 基本方針等

基本方針	新たに策定した経営ビジョンに基づき、交通事業の根幹である安全・安心を最優先に、喫緊の課題である市バスの混雑対策に重点を置きつつ、増収増客策や質の高い便利で快適なサービスの提供、また、安定経営に向けたバス運転士や整備士の担い手確保に努めます。
重点取組の根拠となる計画・条例等	京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョン

◆ 重点取組

重点取組	取組	実績	所属等
1 市バスの混雑対策	観光系統の分かりやすさの向上など「市民生活と観光の調和」を目指した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・大型手荷物に対応したバス車両の導入（12両） ・観光に便利な系統を一目で識別できるパートラッピング車両の導入（12両） ・ラッシュ型車両の導入及び主要系統や観光系統での重点的運用（32両） ・金閣寺道停留所における生活系統と観光に便利な系統の分離 	自動車部運輸課 自動車部技術課
	前乗り後降り方式の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・102号系統に前乗り後降り方式を導入 	自動車部運輸課
	市バスから地下鉄への利用促進及び手ぶら観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄とバスを効率的に組み合わせた移動及び手ぶら観光をPRするリーフレットを航空機や関西国際空港等からのリムジンバスのシートポケットへ配架するなど、入洛前の観光客に向けたPRを実施 ・応援キャラクターを活用した「地下鉄・バス一日券」をPRするポスターを駅等へ掲出 ・東山三条及び金閣寺道停留所における振替輸送の実施 ・京都市バス“おもてなしコンシェルジュ”の案内活動（1,315時間） 	営業推進室 自動車部運輸課
2 公営交通を支える担い手の安定的な確保	路線・ダイヤの維持に向けた市バス運転士の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・大型二種免許未取得者を中心とした市バス運転士の採用（採用後に交通局が大型二種免許取得費用を負担） ・130人を採用（うち大型二種免許未取得者85人） 	企画総務部職員課

重点取組	取組	実績	所属等
2 公営交通を支える 担い手の安定的な 確保	女性運転士の採用に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・現役の女性バス運転士に直接質問できる女性限定の採用説明会を実施 ・現役の女性バス運転士をモデルとした採用募集ポスターを掲出 	企画総務部職員課
	より質の高い市バス運転士の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア別研修の実施 ・進度に応じたきめ細かな新規採用研修の充実 ・全運転士を対象とした安全運転訓練車による研修を実施 	企画総務部研修所 自動車部運輸課
	市バスの安全輸送を支える整備職員（自動車検査技師）の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・検査技師の採用説明会を開催 ・13人を採用 	企画総務部職員課
3 地下鉄烏丸線にお ける可動式ホーム 柵の全駅設置を目 指した取組	新型車両への更新着手	<ul style="list-style-type: none"> ・自動列車運転装置（ATO）搭載の新型車両の実設計に着手 	高速鉄道部高速車両課
	可動式ホーム柵の全駅設置に向けた計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄烏丸線における可動式ホーム柵全駅設置計画を策定 	高速鉄道部技術監理課
4 運賃収入の増収に 向けた取組の推進	「地下鉄・市バスお客様1日80万人」の目標達成に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・全庁体制での「地下鉄・市バスお客様1日80万人推進本部」や民間と行政の共汗による「チーム『電車・バスに乗るっ』」における公共交通を活用した取組を推進 ・ICOM京都大会関連イベントなど観光・集客イベントを開催 	営業推進室
	区役所等と連携した赤字系統の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・赤字系統沿線の区役所・支所と連携した「市バス赤字路線の利用促進を図るためのプロジェクトチーム連絡会議」を立ち上げ、地域の皆様の市バス利用の機運を高める運動を展開 ・西京区役所と連携した「たけにょんバス」の運行 ・西京区役所洛西支所と連携した洛西イベントでのバス展示 ・市バス沿線フォトコンテストの実施 	営業推進室 自動車部営業課
	お客様1人当たり乗車運賃の引き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・各種割引乗車券の抜本的見直しの検討 	営業推進室

◆ 事業戦略

事業戦略	取組	実績	所属等
1 安全運行の確保	運輸安全マネジメントに基づく取組の推進	(市バス) ・ 内部監査及び必要な是正, 予防措置の実施 ・ 自然災害の発生に備えた対応 (ハザードマップの作成と情報共有) ・ 事故の分析と活用及びヒヤリハット情報の収集 ・ 安全意識向上ミーティングの実施 ほか	自動車部
		(地下鉄) ・ 全職員への安全に関するアンケートの実施及び結果の活用 ・ 地下鉄に乗り入れている鉄道事業者との意見交換会の実施 ・ 保守職員の技術継承による若手職員の育成 ほか	高速鉄道部
	市バスの有責事故削減に向けた教育訓練の徹底	・ 安全運転訓練車や外部機関を活用した車内転倒や接触等の事故防止研修の実施	企画総務部研修所 自動車部運輸課
	市バス・地下鉄の運休等に係る情報提供の強化	・ ツイッターを活用した情報発信を継続実施	自動車部運輸課 高速鉄道部運輸課
	地下鉄烏丸線における可動式ホーム柵の全駅設置を目指した取組 (再掲)	・ 地下鉄烏丸線における可動式ホーム柵全駅設置計画を策定 (再掲) ・ 自動列車運転装置 (ATO) 搭載の新型車両の実設計に着手 (再掲)	
	地下鉄の浸水対策の強化	・ 止水板の設置… 3 駅 1 1 箇所 (丸太町駅, 五条駅, 六地藏駅) ・ 「京都市水害ハザードマップ」 (平成 3 0 年度公表) に基づき新たに対応が必要となった 8 駅 1 6 箇所の止水板設置に向けた計画の策定	高速鉄道部技術監理課
	烏丸線駅ホームへの車掌用モニター設備の増設	・ 5 駅 1 0 箇所 (五条駅, 九条駅, 十条駅, くいな橋駅, 竹田駅) に設置	高速鉄道部電気課
	視覚障害者団体の皆様と連携した安全啓発活動の実施	・ 安全啓発活動を実施 (4 回)	高速鉄道部運輸課

事業戦略		取組	実績	所属等
2	より質の高いサービスの提供	「交通サポートマネージャー」の養成	・ 87人を養成	企画総務部研修所 自動車部運輸課 高速鉄道部運輸課
		役付職員の添乗調査等による接客レベルの向上	・ 添乗調査の実施 ・ 接客に関する研修や表彰の実施	企画総務部研修所 企画総務部職員課
		「お客様満足度調査」の実施	・ WEB & 窓口調査及び海外からお越しのお客様への聞き取り調査を実施	企画総務部総務課
3	利便性・快適性の向上	(市バス)		
		路線・ダイヤの継続的な改善	・ 平成31年3月ダイヤ改正 現行の輸送力を最大限活用した堀川通の混雑対策や夜間時間帯の運行充実、停留所間の距離が長い区間への停留所の新設 ・ 令和2年3月ダイヤ改正 生活路線を確保したうえで輸送力の再配分を含めた路線・ダイヤの充実による混雑対策（4両増車）、地域主体のモビリティ・マネジメントと一体となった路線・ダイヤの充実、まちづくりの進展に合わせた利便性の向上	自動車部運輸課
		市バスの旅客流動調査の実施と路線・ダイヤの在り方の検討	・ 旅客流動調査の実施に向けた調査内容の検討の実施	自動車部運輸課
		フルカラーLED式行先表示器の導入拡大	・ 193両に導入	自動車部技術課
		車内中央部への案内モニターの増設	・ 247両に設置	自動車部技術課
		東大路通の歩行空間創出に伴うバス停の改修等	・ 祇園（南行）バス停の移設 ・ 清水道（北行）バス停の東山区役所前への移設及びバスの駅の整備	自動車部技術課
		京都駅前バスターミナルAのりばへのドライ型ミスト装置の設置	・ ミスト装置の設置	自動車部営業課
		北大路バスターミナルのトイレのリニューアル	・ リニューアルに向けた実施設計の実施	自動車部営業課
市バス均一運賃区間の拡大	・ 民間バス会社との協議	営業推進室		

事業戦略	取組	実績	所属等
3 利便性・快適性の向上	(地下鉄)		
	車内案内表示装置等の4箇国語対応の推進	・烏丸線3編成, 東西線4編成において実施	高速鉄道部高速車両課
	災害時の運行情報提供に係る駅構内掲示物の4箇国語対応	・4箇国語対応完了	高速鉄道部運輸課
	外国人観光客にも分かりやすい案内用図記号への更新	・駅構内等に掲出する案内表示を更新	高速鉄道部運輸課
	駅トイレのリニューアル	・烏丸線3駅(九条駅, くいな橋駅, 竹田駅)のトイレをリニューアル	高速鉄道部技術監理課
	お客様の多い駅の夜間集中清掃をはじめとした駅構内の美化推進	・お客様の多い3駅(京都駅, 四条駅, 烏丸御池駅)において夜間集中清掃を実施	高速鉄道部運輸課
	駅施設・設備の計画的改修	・コンコース壁面のリニューアル…丸太町駅 ・エレベーターのリニューアル…十条駅 ・エスカレーターのリニューアル…北大路駅, 鞍馬口駅	高速鉄道部技術監理課 高速鉄道部電気課
照明のLED化	・東西線4編成の車内照明をLED化	高速鉄道部高速車両課	
4 まちづくりへの貢献	地域主体のモビリティ・マネジメント(MM)の取組	・地域の夏祭りでのPR活動の実施 ・ニュースレターの配布	自動車部営業課 自動車部運輸課
	事業者としてのCO2排出削減の取組	・市バスのアイドリングストップ及びエコドライブの徹底 ・東西線4編成の車内照明をLED化(再掲)	企画総務部総務課 自動車部運輸課 高速鉄道部高速車両課
	文化首都・京都への貢献	・「地下鉄に乗るっ」ファンアートコンテストの開催 ・KYOTO駅ナカアートプロジェクトの実施(駅ナカアートの展示及び市バスアート車両の運行) ・北山駅アートプロムナードの作品リニューアル ・車内等をリニューアルしたNISHIJINBUSの運行	営業推進室 自動車部営業課 高速鉄道部営業課
	次世代技術や新たな公共交通についての動向の注視・研究	「GTF S(公共交通機関の時刻表と地理的情報に関するオープンフォーマット)整備検討委員会」の立ち上げ, 今後の取組の検討	企画総務部総務課

事業戦略	取組	実績	所属等
5 経営基盤の強化	【持続可能な財政運営】		
	運賃収入の増収に向けた取組の推進（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ・全庁体制での「地下鉄・市バスお客様1日80万人推進本部」や民間と行政の共汗による「チーム『電車・バスに乗るっ』」における公共交通を活用した取組を推進（再掲） ・ICOM京都大会関連イベントなど観光・集客イベントを開催（再掲） 	営業推進室
	附帯事業の収入増加に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市バス広告料収入 予算 3.9億円→決算 3.5億円 ※税込 ・地下鉄広告料収入 予算 7.9億円→決算 7.3億円 ※税込 ・駅ナカビジネス収入 予算10.6億円→決算11.2億円 ※税込 	営業推進室
	コスト削減策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度予算編成における経常的経費の削減 市バス：36百万円削減 地下鉄：25百万円削減 	企画総務部財務課
	施設マネジメント計画に基づく施設等の長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> ・2階建以上又は延べ面積200㎡以上の建築物を対象とした建築物改修計画を策定 	企画総務部財務課 高速鉄道部技術監理課
	利益剰余金の活用など財政の安定化のための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度黒字額（約23億円）と平成30年度黒字額（約19億円）の留保（市バス） ・建設改良積立金の取崩しにより増加する利益剰余金の留保（市バス） 	企画総務部財務課
	制度等の継続的な点検・研究や国への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・国への要望の実施 	企画総務部財務課
市民の皆様への経営情報等の発信強化	<ul style="list-style-type: none"> ・交通局経営レポートの発行 	企画総務部財務課	

事業戦略	取組	実績	所属等
5 経営基盤の強化	【組織力・職員力の向上】		
	公営交通を支える担い手の安定的な確保（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型二種免許未取得者を中心とした市バス運転士の採用（採用後に交通局が大型二種免許取得費用を負担） ・ 130人を採用（うち大型二種免許未取得者85人）（再掲） 	企画総務部職員課
	真のワークライフバランスの実現に向けた「働き方改革」の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働基準法の改正（年5日の年次有給休暇の確実な取得，時間外労働の上限規制）を踏まえた労働時間管理の徹底及び年次休暇の取得促進 ・ パソコンのログ確認システム等を活用した労働時間の把握 ・ やむを得ず深夜に及ぶ業務を行った職員に対する健康管理の徹底 	企画総務部職員課
コンプライアンス意識の向上と風通しのよい組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幹部職員による，委託先を含む市バス営業所，地下鉄運輸事務所の定期的な巡視 	企画総務部職員課	